

平成30年10月30日

大分大学旦野原キャンパス教職員各位

旦野原キャンパス保育所設置のためのワーキンググループ

座長 相澤 仁

旦野原キャンパス保育所設置に係るアンケート調査ご協力をお願い

本学では、ダイバーシティ推進会議の下に、旦野原キャンパス保育所設置のためのワーキンググループを設置し、旦野原キャンパスに保育所を設置すべきか、設置するとすればどのような保育所がよいのかといったことについて、検討を重ねてまいりました。

つきましては、このほどその概要がまとまりましたので、旦野原キャンパスの職員の皆様方に具体的なお意見、ご要望を伺い、保育所設置についての参考とさせていただきたく、アンケート調査を実施することとしました。

お忙しいところ恐縮ですが、学内イントラの「意見収集サイト」において、11月16日(金)までにご回答いただきますようお願いいたします。

本アンケートは、旦野原キャンパスに保育所を設置するかどうかの判断において重要な資料となりますので、多くの職員の皆様にご回答いただきたく、どうぞよろしくお願いたします。

なお、皆様方からいただいたご意見等は、旦野原キャンパスの保育所設置に係る検討の資料のみに利用します。

「意見収集サイト」への行き方は、以下のとおり。

イントラ・トップページ → 公募・事業案内 → 意見収集サイト  
→ 投稿画面（教職員用） → ログイン

(参考)

■大分大学 男女共同参画行動計画（第3期）（抜粋）（平成28年4月～平成31年3月）

IV 具体的な取組

3. 家庭生活と教育・研究・就業との両立支援（両立支援部門）

【男女共同参画推進室，企画・総務担当理事，且野原キャンパス保育所設置WG】

1.) ワーク・ライフ・バランスの徹底

・男性の育児休暇取得をめざす

2.) 研究者の両立支援（育児・介護）

・研究サポーターの雇用支援

・メンター制度の拡充（研究支援から両立相談へ）

3.) 育児支援・介護支援

・病児保育の実施（挾間キャンパス）

・保育支援の検討（且野原キャンパス）

■国立大学法人大分大学次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画（抜粋）

（第6期）平成29年4月1日から平成31年3月31日

（目標2）「家庭生活と教育・研究・就業との両立を支援する環境を整備する」

且野原キャンパスに設置予定の保育所の概要は、以下のとおりです。

◎保育所名 そだちの森保育所（仮称）

◎開所予定 平成32年4月

◎保育の理念

■保育理念

大分大学且野原キャンパスに設置された「そだちの森保育所（仮称）」は、「健幸な共生共育（健やかに幸せにともに生きともに育つ）」という理念のもとに、子どもの最善の利益を考慮する保育の質の向上を目指し、保護者をはじめ大学との連携協力の下に、豊かな自然環境と教育研究環境・資源などを十分に活かした保育を実践するとともに、その教育・研究の成果を発信することにより地域に貢献します。

■保育方針

1. 健やかな安定した生活づくり

問題を解決し、健幸な生活を営める力をともに育む。

2. 豊かな経験による共育

自然、社会、人間などと調和のとれた共生ができる人間性をともに育む。

3. 自ら考え自ら表現する力

いのちを尊び、よりよい自己に高めていける人間性をともに育む。

◎定員（予定） 19人

（内訳）0歳児 3人、1歳児 5人、2歳児 5人、3歳児以上 6人

※定員には、従業員枠の他に地域枠を設定することを予定しており、本学教職員以外のご家庭のお子さんも利用することができます。

◎保育日 月曜日～土曜日（但し、国民の祝日、年末年始を除く。）

◎保育時間（予定） 通常保育 7:00～18:00 延長保育 18:00～20:00

◎日課 東京学芸大学学芸の森保育園等を参考にして作成

◎保育料 大分大学なかよし保育園と同程度で検討中

（なかよし保育園保育料）0～1歳児 41,143円/月、2～3歳児 30,857円/月、  
4歳児以上 28,800円/月、延長保育料 206円/30分

◎開所場所 B-foret 西側駐車場周辺で検討中

◎運営

保育事業は、外部の保育事業者に委託することとし、運営には大学として積極的にかかわっていくこととする。

◎設置ならびに運営にかかる費用

保育所開設及び運営に当たっては、運営費と建物設置費として国からの補助金（工事費用の3/4、運営費の95%）と大学負担（工事費用の1/4、運営費の5%）が必要となります。ただし、補助対象にならない部分があること、また保育の各種加算を除いた基本分で算定しています。